



Plusidea ベーシックメニュー

仮設工事

Q

仮設工事は、なんのため？



A

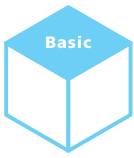
修繕工事を安全にスムーズに行うための
設備を整えるのが仮設工事です。

修繕工事は「生活をしながらの工事」です。
お住まいの皆さまの日常生活や安全を
守りながらの工事には、豊富な
経験が求められます。大規模修繕工事に
おいて、施工会社の実績が重要視
されるのはそのためです。



工事期間中は、こんな感じになります！





仮設工事

工事を行うための足場の設置、資材・廃材置場の確保、建物や設備のキズや汚れを防ぐための養生(保護)など、「生活しながらの工事」を安全、安心、快適に行うための様々な工夫があります。

現場事務所・資材置場

お客様の皆さまの窓口業務を行うための事務所を設置します。また、塗料・工具などを保管する施設を準備します。



足場の仮設

工事中、作業のための足場を建物全体に設置します。作業員は足場から各バルコニーに入ります。



誘導員の配置

足場の組立・解体時には誘導員(ガードマン)を配置して、お客様の皆さまやご通行中の方々を安全に誘導します。



施設・設備の養生

エントランスやエレベーター等を養生材で保護します。また、施工中影響がある場合には、駐車場の車には養生カバーをします。



廃材置場の確保

廃材置場を確保し、バリケード等で立ち入りを制限します。



落下・飛散防止

建物の全面に、タイル破片や塗料の飛散を防止するメッシュシートをかけます。各出入り口・通路の上部には、落下物対策をします。



防犯対策

1階の足場の階段回りや開口部には侵入防止のための金網柵を設置。毎日の作業終了時に施錠します。また、1階回りの適所に人感センサーの付いた防犯ライトを設置します。



安全区画

作業区画と安全通路を明確にし、表示します。飛来・落下物による事故を未然に防止するため、お客様の皆さま、訪問者、第三者の安全通路を確保します。



工事関係者の明確化

作業員にはベストを着用させ、ひと目で工事関係者と識別できるようにします。



※本資料は、大京グループの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。